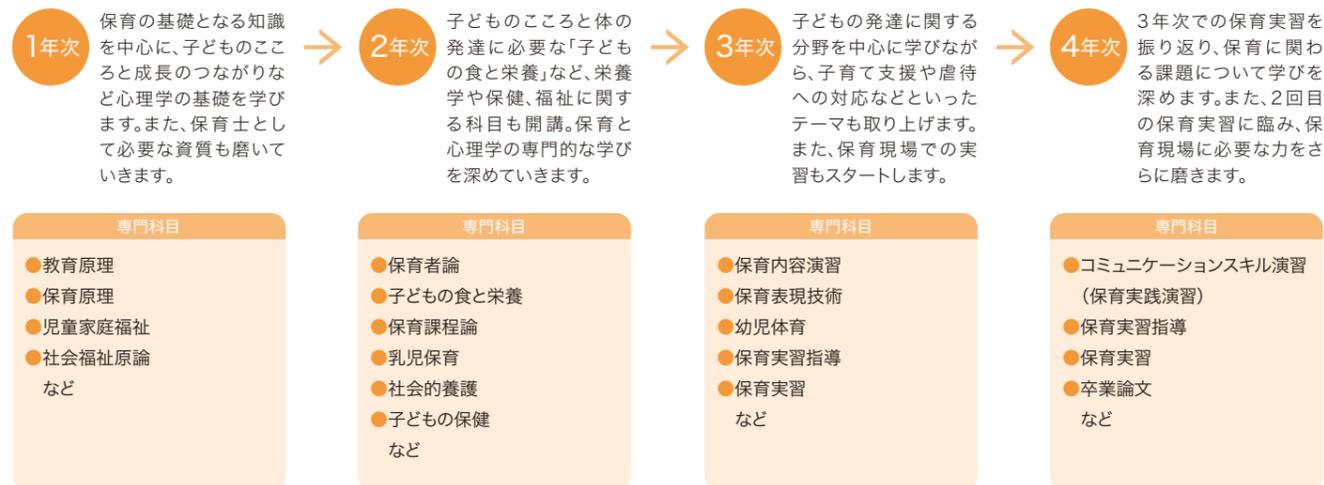


臨床心理学部 教育福祉心理学科 保育福祉心理コース

多様な領域で活躍できる
子ども支援のプロをめざす。

保育士資格を取得できます。保育現場での経験豊富な教員が細かく指導を行い、保育所等での実習支援も充実。臨床心理学の基礎を踏まえながら、保育や福祉の現場で子どもと保護者の気持ちを理解してサポートできる実践力を培います。

保育士をめざす人の学びのステップ



※2018年度の科目は変更になる可能性があります。

保育士としての進路

子ども支援のプロとして、保育所や乳児院、児童養護施設などの児童福祉施設、病気や障害をもつ子どもたちの福祉サービス施設、医療機関への就労をめざします。また、福祉職の公務員をめざすことも可能です。

取得できる免許・資格

- ・ 保育士資格
- ・ 社会福祉主事任用資格
- ・ 臨床心理士

(資格試験を受けるには、大学院を修了する必要があります。)

TOPICS

保育士資格の取得を支援する「サポートセンター」で専任教員が丁寧に指導。



保育士をめざす人へのサポート

保育士資格に関する相談を実施しています。また、保育所実習・社会福祉施設実習に向けた事前指導から、実習参加を経て事後指導に至るまで、一貫して保育実習に関するあらゆる相談に応じます。さらに、保育指導計画の作成など、実習に関して学生が行うべきさまざまな学習・作業などについて、教員とともに具体的な助言指導を行い、学生の学びを助けます。あわせて、卒業後も必要な方にはキャリア支援を行っています。

保育福祉心理コースの学びのポイント

保育・福祉の現場経験豊富な教員陣



島田 香講師

保育福祉心理コースの専任教員は、保育士や福祉職の公務員など、保育や福祉での豊富な現場経験を有する教員が揃っています。子どもやその保護者と関わるなかで実際に経験したことをもとに、保育・福祉の現場でどのような力が求められるのかを授業で指導します。また、そうした教員陣の指導のもと、少人数制のゼミが1年次からスタート。同じ目標を持つ仲間とともに、実習などで学んだことや経験したことを共有し、切磋琢磨しながら保育や福祉の現場で活かせる実践力を磨くことができます。



2 きめ細かな実習指導

保育実習

大学での学びを生かし、保育士としての現場・実社会体験を得る機会

3年次夏期休暇時に児童福祉施設実習(必修)、2月に保育所実習(必修)、そして4年次の6月に児童福祉施設実習・保育所実習のいずれか(選択必修)に参加します。各実習はいずれも10日間です。

児童福祉施設実習

子どもや利用者、一人ひとり理解するために

実習先は、乳児院・児童養護施設・障害児入所施設・児童発達支援センター・情緒障害児短期治療施設・母子生活支援施設・児童厚生施設(児童館)・障害者支援施設など。各施設では、さまざまなニーズを抱えた子どもや利用者の「生きざま」に出会い、その一端に触れます。実習は「真摯な営み」ですが、子どもや利用者へこころを開き、共感的に出会えたときには、専門職に必要な「深い気づきと感動」を得るでしょう。

保育所実習

子ども主体の生活や遊びを理解し、支えることをめざして

保育所の1日の流れを把握することから始まり、子どもたちの姿に応じた指導計画を立て、生活面での援助や遊びの提案などを、自分が主たる保育者となって行います。子どもが主体的に「おもしろそう」「やってみよう」と思える環境づくりや保育士としての対応、子どもの気持ちをくみ取った言葉かけなど、保育士や子どもの様子をよく見て、実際にかかわり、日々振り返ることを通して学びます。

【実習支援の流れ】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年次					児童福祉施設(必修)						保育所(必修)	
4年次			児童福祉施設・保育所(選択必修)									

その他にも

Topics 実践的に学べる豊富な機会を設けています。

● 児童館と連携した体験交流

1年次の「基礎演習」では、地域児童館の親子やスタッフを京都文教大学にお招きし、昼食と遊びをともに過ごす体験交流を実施しています。保育士をめざす学生が、たくさんの親子と初めて関わる体験実習です。



● 保育所におけるフィールドワーク

3年次ゼミや4年次の保育実践演習では、積極的に地域の保育所へ出かけてフィールドワークを行います。今取り組んでいるのは、デジカメを使った「子どもの姿を撮る」ワーク。子どもたちの様子を観察しながら、ありのままの子どもらしい姿をカメラに納めます。撮影した写真を選んでパワーポイントで編集し、保育所の先生や保護者の方々の寸評会も行いました。

